



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日
東

上場会社名 株式会社 アテクト 上場取引所
 コード番号 4241 URL <https://www.atect.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大西 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部次長 (氏名) 五百森 順基 (TEL) 0748-20-3400
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	999	21.0	100	74.3	98	50.7	66	12.7
2026年3月期第1四半期	826	△7.1	57	7.9	65	16.2	58	44.0

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 66百万円(△18.0%) 2026年3月期第1四半期 80百万円(37.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	14.96	—
2026年3月期第1四半期	13.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,984	1,847	37.1
2026年3月期	4,695	1,825	38.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 1,847百万円 2026年3月期 1,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	3,600	7.2	210	2.5	200	△4.5	120	△15.3	27.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	4,436,800株	2026年3月期	4,436,800株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	15,969株	2026年3月期	15,969株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	4,420,831株	2026年3月期1Q	4,420,927株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

新中期経営計画『VISION30S』第1年次のスタートとなる当第1四半期連結累計期間の当社グループ連結業績は、円安や世界的な資材価格高騰の影響、さらには中東情勢の影響による先行きの不透明感が広がる中、各事業ともに大幅な増収増益となりました。

特に売上高は、わずかに1,000百万円には達しなかったものの、上場以来2番目の高水準となりました。

半導体資材事業においては台湾及びCOF (Chip On Film) 市場において成長著しい中国への営業活動が奏功し、受注は増加しました。衛生検査器材事業においては引き続き旺盛なインバウンド需要に伴う外食産業の伸長が売上を牽引し、安定的に推移しております。PIM事業においては自動車用ターボ部品の量産出荷が安定してきたことに加え、半導体及びデータセンター設備向け高機能部品の販売が堅調に推移したことにより、全事業において大幅な増収となりました。しかしながら、各事業において中東情勢の影響による「先買い」とみられる傾向が受注の一部に見受けられるため、今後の動向については引き続き慎重に精査してまいります。

利益面では原材料費の高止まりが継続しており、衛生検査器材事業のシャーレ主原料であるPS (ポリスチレン) 材及び半導体資材事業のスペーサーテープ主原料であるPETフィルム等の値上がりにより、原価を押し上げております。

足元においても中東情勢の影響による先行きの不透明感は継続しておりますが、引き続き地道な製品販売価格の適正化、原材料価格の交渉及び各事業における生産性改善活動等により利益の確保に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高999百万円（前年同期比21.0%増）、営業利益100百万円（前年同期比74.3%増）、経常利益98百万円（前年同期比50.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は66百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 半導体資材事業

当事業においては、当第1四半期連結累計期間での販売数量は2,066万mと好調に推移しました。

前年同期比で32.3%増加となり、四半期単独で2,000万mを超えたのは2024年3月期第1四半期以来となりました。台湾及びCOF市場において成長著しい中国への営業活動が奏功し受注増となった一方で、中東情勢による先買いとみられる側面もあり今後の動向については慎重に精査する必要があると認識しております。

第2四半期連結累計期間以降、パネルメーカーの稼働は大きく落ち込んでいないとの情報もありますが、急な市場動向の変動にも備え、日韓二拠点の生産体制、人員配置の最適化も進めてまいります。

また、円安やエネルギーコストの上昇、昨今の中東情勢等の影響を受け、仕入材料の値上がりが相次ぎ、利益圧迫要因となりました。引き続き利益の改善を図るべく、生産効率改善やコストパフォーマンスの高いスペーサーテープの開発活動を含め原価低減に注力してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は353百万円（前年同期比21.7%増）、営業利益39百万円（前年同期比32.5%増）となりました。

② 衛生検査器材事業

当事業においては、インバウンド需要を含む外食産業への販売が堅調に推移したことが売上を牽引し、大幅な増収となりました。

また、中東情勢の緊迫化による原材料価格及び包装資材の高騰に伴い、サプライチェーン上における品薄感や納期遅延が懸念されたことから、一部先買いとみられる受注が増加したことも、売上が増加した要因の一つであると考えられます。

新製品である簡易型微生物検出用培地『a S - M e d i u m』については、一般細菌群検出用の『A C』に続き、大腸菌群検出用の『C C』を発売開始しました。

食品業界の検査部門においては人手不足が続いており、簡易型微生物検出用培地の市場は拡大しつつある中、菌種別・用途別の製品開発に努め、新規取引先開拓を含めた販売強化を図ってまいります。

昨今の中東情勢の影響により先行きは不透明ではありますが、引き続き適正コストで調達していくことで製品の安定供給に努めるとともに、販売価格の適正化についても継続して進めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は572百万円（前年同期比18.7%増）、営業利益92百万円（前年同期比49.4%増）となりました。

③ P I M（パウダー・インジェクション・モールドィング）事業

当事業においては、当第1四半期連結累計期間の売上高は過去最高を更新しました。自動車用ターボ部品の量産出荷が安定してきたことに加え、半導体及びデータセンター設備向け高機能部品の受注が堅調に推移いたしました。今後についてもさらなる受注獲得に向け、積極的な営業活動を実施してまいります。

生産面におきましては、前期より継続して取り組んでおります歩留まり改善活動が着実に成果を上げつつあります。具体的には、成形・脱脂・焼結の主要工程における作業標準・工程条件の見直し、工程内検査体制の強化による品質管理の徹底及び異常発生要因の可視化・分析に基づく迅速な対策実施等に取り組み、生産効率及び品質の安定化に努めております。

なお、円安傾向が継続し原材料価格の高止まりが続いていることから、今後、取引先との価格改定協議を実施し、販売価格の適正化による収益の確保に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は72百万円（前年同期比36.8%増）、営業損失30百万円（前年同期は営業損失33百万円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

総資産は、4,984百万円（前連結会計年度末は4,695百万円）、288百万円の増加（前連結会計年度末比6.1%増）となりました。これは、「現金及び預金」が316百万円増加する一方、「原材料及び貯蔵品」が17百万円、「建物及び構築物（純額）」が15百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

負債は、3,136百万円（前連結会計年度末は2,869百万円）、266百万円の増加（前連結会計年度末比9.3%増）となりました。これは、「買掛金」が44百万円、「電子記録債務」が21百万円、「長期借入金」が129百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産は、1,847百万円（前連結会計年度末は1,825百万円）、22百万円の増加（前連結会計年度末比1.2%増）となりました。これは、「利益剰余金」が21百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月13日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	493,160	809,320
受取手形	556	576
売掛金	533,722	532,339
電子記録債権	12,511	6,202
商品及び製品	228,456	246,270
仕掛品	43,737	47,017
原材料及び貯蔵品	262,446	245,444
その他	45,780	49,570
貸倒引当金	△2,020	△2,059
流動資産合計	1,618,351	1,934,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	891,744	876,004
機械装置及び運搬具（純額）	258,825	243,661
土地	1,536,001	1,536,001
建設仮勘定	52,802	52,727
その他	27,457	35,851
有形固定資産合計	2,766,831	2,744,246
無形固定資産		
その他	52,409	45,670
無形固定資産合計	52,409	45,670
投資その他の資産		
投資有価証券	100,000	100,000
繰延税金資産	153,255	154,964
その他	5,589	5,597
貸倒引当金	△762	△762
投資その他の資産合計	258,083	259,799
固定資産合計	3,077,323	3,049,716
資産合計	4,695,675	4,984,399

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,422	167,583
電子記録債務	150,290	171,319
短期借入金	500,000	508,333
1年内返済予定の長期借入金	672,465	681,263
リース債務	12,622	12,697
未払金	97,529	117,508
未払法人税等	44,992	39,087
前受金	1,414	2,343
賞与引当金	72,095	42,187
営業外電子記録債務	12,486	2
その他	55,044	137,933
流動負債合計	1,742,364	1,880,259
固定負債		
長期借入金	1,067,337	1,196,850
リース債務	24,577	21,375
退職給付に係る負債	32,340	34,797
その他	3,177	3,212
固定負債合計	1,127,432	1,256,235
負債合計	2,869,797	3,136,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,266	822,266
資本剰余金	742,266	742,266
利益剰余金	285,993	307,942
自己株式	△8,047	△8,047
株主資本合計	1,842,479	1,864,428
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△16,601	△16,523
その他の包括利益累計額合計	△16,601	△16,523
純資産合計	1,825,878	1,847,904
負債純資産合計	4,695,675	4,984,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	826,175	999,290
売上原価	481,892	574,577
売上総利益	344,283	424,712
販売費及び一般管理費	286,694	324,347
営業利益	57,588	100,365
営業外収益		
受取利息	1,296	1,396
為替差益	9,611	1,880
その他	1,095	1,228
営業外収益合計	12,004	4,505
営業外費用		
支払利息	4,175	6,457
その他	113	0
営業外費用合計	4,288	6,457
経常利益	65,303	98,414
特別利益		
固定資産売却益	20,072	-
特別利益合計	20,072	-
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	85,376	98,414
法人税等	26,649	32,256
四半期純利益	58,726	66,157
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	58,726	66,157

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	58,726	66,157
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	22,083	77
その他の包括利益合計	22,083	77
四半期包括利益	80,809	66,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,809	66,234
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	半導体 資材事業	衛生検査 器材事業	P I M事業			
売上高						
外部顧客への売上高	290,610	482,420	53,144	826,175	—	826,175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	290,610	482,420	53,144	826,175	—	826,175
セグメント利益又は 損失(△)	29,501	61,672	△33,585	57,588	—	57,588

(注) セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	半導体 資材事業	衛生検査 器材事業	P I M事業			
売上高						
外部顧客への売上高	353,812	572,753	72,724	999,290	—	999,290
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	353,812	572,753	72,724	999,290	—	999,290
セグメント利益又は 損失(△)	39,082	92,158	△30,876	100,365	—	100,365

(注) セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	51,631千円	45,427千円